

しょうけい館 福島展

戦傷病者史料館

Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

戦傷病者とその家族の労苦を伝える

入場
無料

車椅子

東白川郡の方より寄贈された
箱根式車椅子



懐中時計

郡山市の方より
寄贈された
失明者用懐中時計



義手

福島市の方より
寄贈された義手



福島県ゆかりの資料展示

～徴兵検査から受傷、そして戦後の労苦まで～

兵士の入隊、受傷、社会復帰そしてその後の労苦を、福島県にお住いの
方々から寄贈された資料と共に紹介します。

証言映像コーナー

福島県にお住まいの戦傷病者8名の証言映像を上映します。

図書・体験コーナー

戦傷病者の体験記などご覧いただけます。また、実物の義足と
「乃木式義手」のレプリカを触って体験することもできます。

展
示
紹
介

平成28年

5.24 | 火 | ▶ 5.29 | 日 |

郡山市市民ふれあいプラザ
ビッグアイ6階 展示室3

[時間] 午前10時00分～午後6時30分(入場は午後6時まで)

24日(火)午後2時開場、29日(日)午後5時開場

[主催] しょうけい館(厚生労働省設置) [後援] 福島県・郡山市



しょうけい館 戦傷病者史料館

福島展

しょうけい館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、次世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。

昨年、戦後70年の節目を迎え、戦後生まれの世代が大多数となり、戦争を体験し、戦後を生き抜いてきた世代が10%以下となってきています。戦争体験と一口に言ってもその中身は様々ですが、戦傷病者の方の中には「自分が死ぬまで戦争は終わらない」と言うほどに、戦後も大変な苦勞と共に生きてこられた方が多くおられます。そのような労苦を、戦争を知らない次の世代へ継承していくために、全国でも早い時期に傷痍軍人会を設立した福島県にて地方展を開催します。

●福島県ゆかりの資料展示

～徴兵検査から受傷、
そして戦後の労苦まで～

兵士の入隊、受傷、社会復帰そしてその後の労苦を資料と共に紹介します。

また、福島県傷痍軍人会の活動や福島にお住まいの方々から寄贈された資料も紹介します。



日章旗(いわき市の方より寄贈)



義足での農作業(郡山市の方より寄贈)

●図書・体験コーナー

福島県の戦傷病者の体験記や福島県傷痍軍人会発行の図書など、福島県にゆかりのある内容の図書をご覧いただけます。また、実物の義足と「乃木式義手」のレプリカを実際に触って体験することもできます。



●証言映像コーナー

しょうけい館が収録した福島県の戦傷病者の証言映像を上映します。

映像タイトル	証言者	お住まい	傷病名
いつか花咲く日まで	石川	二本松市	左臀部盲管破片傷、左足機能障害
生まれ育った故郷に恩返し	星	西白河郡	右肘部骨折貫通銃創、右腕機能障害
負けない!これぐらいの傷	渡辺	二本松市	左上膊骨骨折貫通銃創、左手機能障害
義足と妻に支えられて	遠藤	二本松市	両大腿部榴弾破片創、右大腿部切断
二人三脚、商売繁盛	佐藤(義)	二本松市	左手部右足部挫滅爆弾破片創、左手右足切断
脊椎挫傷でも松葉杖で歩けるように	古市	東白川郡	頭部脊椎損傷
みんなのため、人のため…(最後の日傷会長)	奥野	石川郡	1度目: 左大腿軟部盲管銃創 2度目: 右上膊右前膊軟部貫通銃創
無いものは無い、それでもやるほかない…	佐藤(東)	福島市	右肘関節部貫通銃創

会場

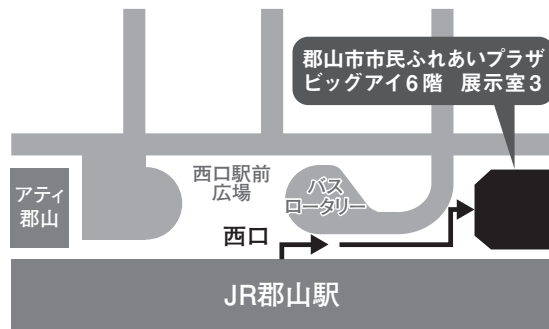
郡山市市民ふれあいプラザ ビッグアイ6階 展示室3

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11-1

交通アクセス

●電車の場合 JR 郡山駅西口から徒歩1分

●車の場合 東北自動車道: 郡山ICから約20分、郡山南ICから約20分
磐越自動車道: 郡山東ICから約20分



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 ツカキスクエア九段下
TEL 03(3234)7821 FAX 03(3234)7826 URL www.shokeikan.go.jp

入館無料